



令和4年8月15日
第860号

一般財団法人日本遺族会
〒100-0001 東京都千代田区九段南一丁目六番一七号
千代田会館三階
電話 03-3261-5521
振替 00160-6-25389
編集発行人 盛川英治
毎月1回15日発行
定価 1部130円(税込)

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

令和5年度 要望事項実現に向けて 関係省庁へお願い書を手交

令和5年度政府予算の概算要求は、各省庁が財務省に対して8月31日に迫った提出期限までに取りまとめを進めており、本会も要望事項実現のための陳情運動を展開している。
8月8日には、水落敏栄会長をはじめ本会役員が総務省、厚生労働省を訪れ、本会の要望に関する「お願い書」を手交した。

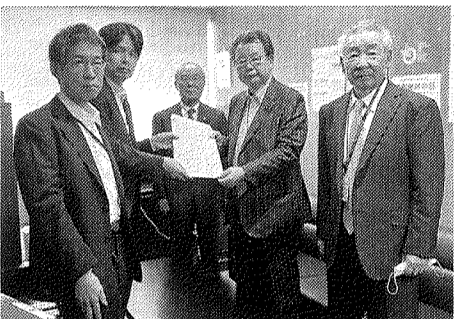
8月8日、水落会長、宇田川副会長(東京都遺族連合会会長)、江田常務理事(埼玉県遺族連合会会長)は、総務省、厚生労働省を訪ね、令和5年度政府予算に対する本会の要望事項について概算要求に盛り込まれるよう「戦没者遺族の処遇改善に関するお願い書」を手交した。
総務省では、明渡将大臣官房審議官(恩給担当)らと面会し、公務扶助料

の改善、特例扶助料の支給率拡大等について陳情した。
厚生労働省では、水落会長が後藤茂之大臣に直接会って、本会の要望事項について具体的に説明した。
その後、役員は川又竹男社会・援護局長らと面会し、令和5年10月31日に最終償還を迎える「戦没者の妻に対する特別給付金」は、先の大戦で一心同体であり、一家の

大黒柱である夫を失った戦没者等の妻の精神的痛苦に對して、国として特別な慰藉を行うために昭和38年以来5回にわたりに「戦没者遺族の遺留品」増額して支給されているので、令和5年以降も継続されるよう強く要望した。
さらに、「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」で遺児に付き添う孫、ひ孫等の補助、令和6年度までに迫る「戦没者の遺骨収集の推進」に關する



後藤茂之厚生労働大臣に本会の要望事項について説明する水落会長=8月8日、厚生労働省大臣室で



明渡将大臣官房審議官(左から2人目)にお願ひ書を手交する本会役員=8月8日、総務省で

本会が保存を強く要望していた本館建物は、歴史的な価値や景観上等の重要性に鑑み、登録有形文化財建造物に登録され、建物北東部分の外観をL字型に保存し、さらに帝冠様式の塔屋部分も保存され、当時の職人の粋が再現されている。最新鋭のオフィスとなる新築部

旧九段会館建て替え 九段会館テラスが竣工

東急不動産株式会社と鹿島建設株式会社が出資する、合同会社「ノウエグランデ」による、旧九段会館建て替えプロジェクト「九段会館テラス」が、約4年の歳月をかけて7月29日に竣工した。(開業は今秋予定)
本会が保存を強く要望していた本館建物は、歴史的な価値や景観上等の重要性に鑑み、登録有形文化財建造物に登録され、建物北東部分の外観をL字型に保存し、さらに帝冠様式の塔屋部分も保存され、当時の職人の粋が再現されている。最新鋭のオフィスとなる新築部



7月29日に竣工した「九段会館テラス」=8月8日撮影

最後の皇帝愛新覚羅溥儀の実弟、溥儀と嵯峨浩が結婚披露宴を行った真珠の間等々も後世に伝えるべく残されている。
建物の概要は、敷地面積約8765㎡、建物地上17階(高さ75m)、地下3階、延床面積約6万8000㎡、駐車場129台、建物用途は貸付オフィス、宴会会場、シアター、飲食店舗、クリニックモジュールが今秋開業予定。さらに、施設正面玄関前には、九段ひろば、お濠池には遊歩道が設けられるなど、緑水・歴史を感じることでできるような工夫されており、土地、建物の高度利用が図られている。
建物の名称「九段会館テラス」には、新たに九段会館に光を照らすの意味が込められている。
本会の事務局は、新築建物の4階部分の靖国神社、日本武道館を望む眺望の良い場所に配置された事務室・展示室・交流スペース等として、今秋10月1日から供される。

第33代参議院議長に選出 尾辻秀久本会名誉顧問

7月の参院選を受けた第209回臨時国会が8月3日に召集され、日本遺族会名誉顧問の尾辻秀久参議院議員は、参議院議長に選出された。
尾辻氏は、平成24年から27年まで本会の会長を歴任している。

厚生労働省で 人事異動

厚生労働省で人事異動が行われた。本会に關係のある方は次のとおり。
厚生労働省

▼社会・援護局 援護・業務課長 添田 徹郎氏
(8月1日付)

▲鈴木喜美男氏 日本遺族会監事。宮城県連合遺族

ごあいさつ
ご遺族皆様には、平素より格別のご指導、ご支援を賜っておりますこと、厚くお礼申し上げます。
さて、先般の参議院選挙では、皆様温かいご支援にお応えすることができず、偏に自身の不徳の致すところと、衷心よりお詫び申し上げます。
この参院選は「次世代青年部へ活動を継承する選挙」と位置づけ、令和5年最終償還の戦没者等の妻に対する特別給付金、中でも令和7年に最終償還の戦没者等の遺族に対する特別弔慰金の継続が組織の存続にかかると訴えてまいりましたが、結果が伴わず、昭和25年以来、組織代表を国政に送り続けた遺族政治連盟の歴史を途絶えさせてしまったことを重ねてお詫び申し上げます。
戦後77年余が経過し、戦没者遺児の平均年齢が80歳を超え、遺族会組織の高齢化は否めません。戦後生まれが国民の9割を占める今日、戦争を知る世代はそう遠くない未来になくなってしまおうと、しかし、世界では未だ紛争が絶えず、今この瞬間にも命が失われ続けています。何よりロシアによるウクライナ侵攻は、愚かな指導者により簡単に戦争が始まること、そして一旦始まった戦争は終わらせることが難しいことを示しており、決して対岸の火事ではありません。
加えて、遊説中の安倍元総理が銃弾に倒れる悲劇など、武力により世界中で平和が脅かされる状況下、改めて言論により平和を希求する遺族会の活動は、今後一層重要になると考えています。
私は、平和を構築するために「一番大切なことは、「戦争を忘れないこと」だと思ひます。そして、「戦争の悲惨さ、平和の尊厳を語り継ぐ」遺族会の活動が、今日まで平和国家として歩み続けた我が国の一翼を担ったと自負しております。そして、今後も活動を続けることが遺族会に課せられた社会的使命であると認識しております。
私は、政界は引退いたしますが、今後は、日本遺族会会長職に専念し、戦没者の孫、ひ孫、甥、姪等をつくる青年部が、次代の「平和の語り部」として遺族会活動を継承できるように青年部の育成に全力を注いでまいりますので、青年部の活動に、今後一層のお力添えをお願いいたします。
遺族会に奉職し半世紀、加えて3期18年の長きにわたり、お育ていただきました遺族会の皆様感謝申し上げますと共に、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。御礼の挨拶といたします。
曇さ厳しき折、皆様は、くれぐれもご健康にご留意の上、ご健勝にてお過ごしください。どうぞご祈念いたします。
なお、選挙後にご挨拶状をお送りするのは公職選挙法上違反となっております。承りまわっている機関紙、フェイスブック等での挨拶に代えさせていただきます。ご了承ください。
一般財団法人日本遺族会会長
水落 敏 栄



参院選の衝撃
から一カ月余り。
去る8月3日参院選後初となる臨時国会が開かれ、遺族会名誉顧問の尾辻秀久参議院議員が、第33代参議院議長に就任された。本会役員では、徳永正利参議院議長(第14代参議院議長)以来となる大変名譽な慶事となった。
一方、戦没者の英霊顕彰と遺族の福祉向上を国に訴えるため、昭和25年の参院選全国区に出馬、大方の予想を覆し遺族の圧倒的支持を得て当選を果たした日本遺族会連盟議長、嶋銀蔵会長から連綿と続いた遺族代表の議席は、今夏参院選で途絶えることとなった。遺族会事務局局長を経て、議長までお務めになった前述の徳永氏をはじめ、板垣正氏、尾辻氏、森田次夫氏、そして水落敏栄氏は、遺族会の要望事項のため、日夜「尽力」を怠らないうる。改めて感謝申し上げたい。▼今遺族代表の議席を失ったことは組織の存続を揺るがす深刻な問題だ。しかし、水落会長は、敗因は偏に自身の不徳にあると詫び、既に青年部への活動継承の方途を思案されており、頭が下がる思いだ。▼ロシアのウクライナ侵攻をはじめ、武力により平和が脅かされる今日、遺族会の活動は重要性を増している。「平和を守ることは戦争を忘れないこと」水落会長の言葉を胸に刻み、平和の語り部たる遺族会活動を次世代へ繋げるよう皆さん、奮起しましょう。(M)

海外の調査が一部緩和 マリアナ諸島・グアムで 遺骨収集

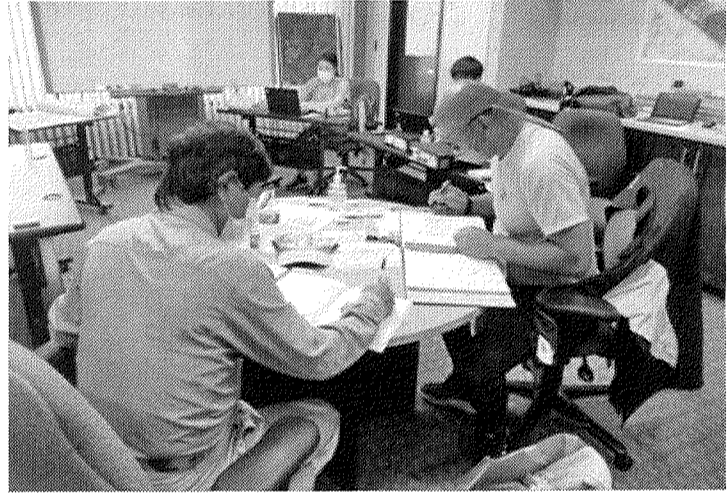
日本戦没者遺骨収集推進協会主催によるマリアナ諸島(グアム)現地調査が7月7日から17日までの11日間実施され、本会から1人が参加協力した。この度の調査は世界的に広がった新型コロナウイルス感染症の影響で実施の目的が立たず、見送られていたが現地調査が徐々に解除され、海外での調査の一部が緩和されるようになった。

7月8日、派遣団は現地のグアム州知事、国立公園局、グアム警察署、在ハガニヤ日本国総領事館、ピースリングクラブ、ジャパン会長等を表敬訪問するとともに、現地調査員との打ち合わせを行った。

今回の調査については、主に太平洋戦争国立歴史公園が所有している戦時中の米軍作成資料の調査及び当時の地図取得を実施。また、遺骨情報を呼びかけるためにラジオ番組に出演するなどした。

グアムには、米軍基地があり、自由に出入りができず、基地以外の土地についても確実な遺骨がある証拠(資料、工事中に発見等)がないと調査を実施できないため、遺骨収集は困難な状況にある。

今後の調査の対応については、国立公園局によればグアムのDPA(米国防総省捕虜・行方不明者調査局)が新たに遺骨探査用レーダーを開発して近いうちに調査を実施するので、厚生労働省を通してDPAに情報共有及び共同調査を提案することとしている。



戦時中の米軍作成資料の調査を実施する派遣団員ら
= 7月12日、国立歴史公園内の事務所で

フオロアアップ調査 ジャングル地帯等を踏査

日本戦没者遺骨収集推進協会主催による硫黄島戦没者遺骨収集派遣第1回、第2回、第3回フオロアアップ調査は、6月9日から21日までの13日間、6月20日から7月5日までの16日間、7月4日から20日までの17日間で行われ、日本遺族会



旧日本軍の陣地があったと思われるエリアを調査する派遣団員ら

からそれぞれ1人が参加協力した。第1回調査では、現行滑走路西端から南側の旧日本軍の陣地があったと思われるエリアを行った。第2回及び第3回は旧日本軍千鳥飛行場跡地内を探索するなど作業に従事した。

また、踏査場所には、1メートルくらいの雑草が生い茂るジャングル地帯が、予定を早め、7月29日、帰郷の途に着いた。

厚生労働省は、7月20日、都内で「令和4年度第1回戦没者の遺骨収集に関する有識者会議」を開催し、本会からは森本浩吉評議員(神奈川県遺族会会長)がオブザーバーとして出席した。

会議では、「戦没者の遺骨収集事業の取組状況」「戦没者遺骨鑑定の取組状況」「令和4年度予算」が議題として取り上げられ、意見が交わされた。戦没者の遺骨収集事業の取組状況として、令和4年度は、感染症危険情報や入国制限等と判断されたマリアナ諸

DNA鑑定で身元が特定 旧ソ連等の遺骨収集

厚生労働省は、6月22日に開催した第11回身元特定DNA会議において、過去に収容された遺骨で4柱の身元が特定されたことを公表した。今回身元が特定された

遺骨は、平成14年度ソ連抑留死亡者遺骨収集派遣団がイルクーツク州、ハバロフスク地方で収容した遺骨から各1柱、令和元年度マリアナ諸島遺骨収集団がテナン島で

収容した遺骨から2柱の合計4柱で、いずれも遺ある遺骨だった。留置等の手掛かり情報があ

有識者会議を開催 DNA鑑定の取組について

況の中、令和3年度は硫黄島へ調査派遣等を2回実施し24柱の遺骨を収容されたこと、厚生労働省が外交ルートを通じた文書のやり取りや遺骨収集の対象国政府とオンライン協議を実施するなどして、マリアナ諸島で現地調査・遺骨収集派遣を実施し、195柱相当の検体が送還されたことなどの実績が報告された。また、令和4年度は、感染症危険情報や入国制限等と判断されたマリアナ諸

島、パラオ諸島、インド、東部ニューギニアなどで順次現地調査派遣等の事業が実施されていることも報告された。戦没者遺骨鑑定の取組については、厚生労働省は、遺骨の科学的な鑑定、遺骨収容に関する技術的事項、戦没者遺骨の鑑定に関する研究、諸外国の鑑定機関との共同鑑定等を業務とする戦没者遺骨鑑定センターを設置し、鑑定体制を強化して、戦没者遺骨の身元特定のためのDNA鑑定会議や日本人の遺骨であるかの判定を専門家で行う所属集団判定会議、さらには「次世代シークエンサによるSNP分析」(※注釈)といった技術を使用し、この装置はゲノム(遺伝情報)を低いコストと短時間で解析することが可能である。

この遺伝子の塩基配列を高速に読み出せる装置のこと。この装置はゲノム(遺伝情報)を低いコストと短時間で解析することが可能である。

本紙(3面)でもお願ひしているミャンマー小学校修繕募金につきまして、ご賛同いただきまして、お礼申し上げます。長から高額の寄附をいただきました。水落敏栄は、「ミャンマー小学校建設は、慰霊友好親善に参加した遺児の発案から始まり、日緬友好、世界平和に寄与する子供たちを育む大きな国際貢献となりました。現在のミャンマーの状況を憂い、ささやかな気持ちとして寄附させていただきました」と話した。

皆様からいただきました「ミャンマー小学校修繕募金」は校舎等の修繕費用に充てさせていただきます。誠にありがとうございました。

戦没者遺骨を ご遺族のもとへ!

厚生労働省は先の大戦によって海外や沖縄、硫黄島で亡くなられた戦没者のご遺骨の身元を特定してご遺族のもとへお返しするため、DNA鑑定を実施しています。

戦没者遺骨の身元特定のためのDNA鑑定申請のご案内

現在、右記の地域の戦没者のご遺族からDNA鑑定の申請を受け付けています。

厚生労働省が遺骨収集を行う「遺骨の検体(DNA鑑定に使用する部位)」を保管している地域

- 硫黄島
- インド
- インドネシア (西部ニューギニア含む)
- 沖縄
- 樺太
- 旧ソ連等
- 旧ソ連、モンゴル
- タイ

中部太平洋地域
ウエーク島、ギルバート諸島、ツバル、トラック諸島、パラオ諸島、マーシャル諸島、マリアナ諸島、メレニオン島

東部ニューギニア
ノモンハン
ピスマルク・ソロモン諸島
フィリピン
ミャンマー(ビルマ)

※令和4年3月末時点の状況。他の地域も遺骨の検体が採取された場合は実施します。

DNA鑑定料は国が全額負担します。

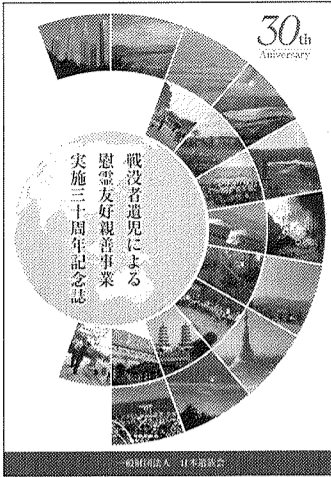
厚生労働省問い合わせ先 **03-3595-2219** 受付時間(平日のみ) 9:30~18:00 休日はホームページをご覧ください

厚生労働省

慰霊友好親善事業

実施三十周年記念誌頒布

日本遺族会では、戦没者遺児による慰霊友好親善事業が、実施30年を迎えたことを記念し、同事業実施三十周年記念誌を発売した。主な内容等を本紙令和4年5月号に紹介したところ、販売等についての問合せが相次いだことから、急遽同誌を限定300冊増刷し頒布することが決まった。是非、この機会にご購入をお勧めする。



記念誌の表紙

同記念誌は、戦没者遺児の「友好親善」を記録するにいとまらず、「二度と戦争の惨禍を繰り返さ

ないために、戦争の悲惨さを語り継ぎ、世界の恒久平和に寄与する」思いを広く次世代へ語り継ぐ内容となっている。購入方法は左記の通り。
 ▼頒布価格(限定300冊) 一冊 3千500円(消費税、送料込み)
 ※2冊以上購入の場合 東京都千代田区九段南1-102-0074

は若干の割引あり。
 ▼申込方法 葉書またはファックスで、左記の申込先に必要事項を必ずご記入のうえ、お申込みください。なお、電話での申込はお受けしておりませんのでご了承願います。
 ▼申込先 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-102-0074

必要事項
 氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、購入冊数。
 申込後、本会より振込用紙を送付いたします。なお、恐れ入りますが、振込手数料につきましては、ご本人負担でお願いいたします。
 記念誌の発送は、入金確認後となりますのでご了承願います。

慰霊友好親善事業 遺児の参加者募集

募集要項は次の通り。
 ▼時期及び地域 実施計画概要参照。
 ▼参加費 10万円。
 ※東京等に集合し、結団式及び渡航に係る説明会を行う。なお、集合場所まで及び解散場所からの交通機関はご自身の手配になる。また、移動に係る国内交通費及び帰国時の宿泊代、渡航手続き手数料等、さらに日本国内外問わず、新型コロナウイルス感染症対策によるPCR検査等の費用は、個人負担となる。
 ▼参加資格 戦没者の参加者の高齢化に考慮

実施計画概要 (広域地域/特定地域)

実施地域	実施時期	募集人員	申込締切
1 東部ニューギニア	令和4年11月2日~11月9日	42人	9月2日
2 ビスマルク諸島	令和4年11月2日~11月9日	40人	9月2日
3 ミャンマー・タイ	令和4年11月10日~11月18日	80人	9月9日
4 ソロモン諸島	令和4年11月16日~11月23日	20人	9月16日
5 フィリピン(1次)	令和4年11月25日~12月2日	120人	9月22日
6 マーシャル・ギルバート諸島	令和5年1月14日~1月22日	30人	9月13日
7 東部ニューギニア(特定地域)	令和5年2月1日~2月8日	36人	11月28日
8 台湾・パシール海峡	令和5年2月9日~2月15日	30人	12月9日
9 西部ニューギニア(特定地域)	令和5年2月16日~2月25日	36人	12月16日
10 ミャンマー(特定地域)	令和5年2月28日~3月8日	36人	12月23日
11 フィリピン(2次)	令和5年3月10日~3月17日	120人	1月10日
12 中国	令和5年3月22日~3月30日	80人	1月20日

本会への賛助金のお礼

本紙でもお願いしている本会への賛助金につきまして、ご賛同いただきました左記の方々に対し、お礼申し上げます。なお、大変恐縮ではございますが都道府県名については、送金方法により居在が特定できない場合がありますので、省略させていただきます。
 賛同者名(敬称略・カタカナ名は銀行振込、漢字名は現金書留等)
 鴨田篤和、小平方水、ミヤウチマイ、コガトシロウ、フジムラヨシヤス、山本泰生、柳園勇(以上、7月1日から7月末日まで) 皆様からいただきました賛助金は、本会が実施する各種慰霊事業などの活動費用に利用させていただきます。誠にありがとうございます。

記念誌のフィリピン地域(上)と中国地域(下)の一部

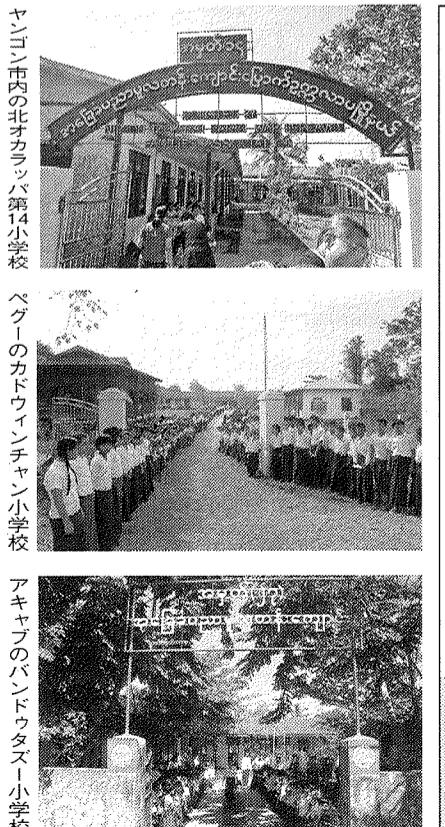


日本遺族会では、戦没者の英霊顕彰や遺族支援、慰霊友好親善事業、遺骨収集帰還等各種事業の活動のために賛助金を募っております。本会の活動の趣旨にご理解を賜り何卒ご賛同いただけますようお願い申し上げます。
 ●郵便振替 00130-021694929
 ●みずほ銀行 九段支店 普通預金 0908000000
 ※口座名は「一般財団法人日本遺族会」ニホンイゾクカイ

ミャンマー(旧ビルマ) 小学校修繕募金のお礼

日本遺族会では、ミャンマー(旧ビルマ)に建設寄贈した小学校の修繕費用について寄付金を募っております。先の大戦で18万の将兵が散華されたミャンマーの子供たちのためヤンゴン、アキャブ、ベグーに3校の小学校を建設し、竣工贈呈をいたしました。建設から20数年が経過し、校舎等も老朽化が進んでいることから、この度修繕費用を募ることいたしました。関係ご遺族をはじめ、広くご遺族の皆様からのご支援をお願いいたします。

銀行名：三井住友銀行 神田支店
 口座番号：当座預金 1015126
 口座名：一般財団法人 日本遺族会 =ザイ) ニホンイゾクカイ



作文コンクール実施

優秀作品には厚生労働大臣賞

昭和館

東京都の九段下にある昭和館では、毎年「昭和館見学作文コンクール」（以下「作文コンクール」）及び「中学生・高校生ポスターコンクール」（以下「ポスターコンクール」）を実施しており、今年度も募集を開始した。作文コンクールは、平成14年度から開催し、今年度で第21回目を迎える。

昭和館で開催している 作文コンクールは、平成14年度から昭和館または巡回特別企画展を見学し

賞、昭和館館長賞を設けて表彰を行い、一部は昭和館ホームページで公表している。

新型コロナウイルスの影響で学校団体見学の減



少や同行説明ができない状況等を受けて、昨年度から昭和館YouTubeでオンラインヒストリー（証言映像）を視聴したり、次世代語り部の講話を聴いたりした小・中学生も応募対象としている。

戦時中の人々の暮らしを知り、体験者の想いを想像し、戦争に対する思考を深める機会にして欲しいと願っている。ポスターコンクールは、昭和のくらしを中高生が描いたポスターに



山口貢佐賀県遺族会会長（右端）から受け取った日章旗を広げる関係遺族 = 7月28日、佐賀県護国神社で

愛しき母

陸軍大尉 酒井 源兵衛

昭和二十年八月十日

フィリピン・ルソン島にて戦病死

兵庫県多紀郡丹南町出身 三十一歳

悠々三千年の歴史に輝く皇國の興廢を決するの秋、正に來る。恰もよし、此の秋今日、最後の決戦場に臨まん。男子の本懐之に過ぐるものなし。生死固より天にあり。唯、至誠以て任務に邁進せんのみ。願れば、生を受けしより三十年。今日あるは諸々の恩恵によるは勿論なるも、父上母上の陽になり陰に互る慈愛に負ふ所、最も大なり。（中略）

昭和十九年十月

源兵衛

父上様
母上様

（原文のまま）
愛しきものへ

4県で日章旗が返還

OBONソサエティ

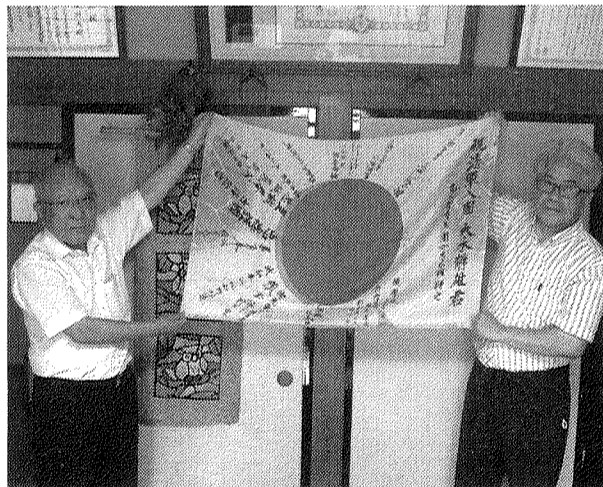
本会が厚生労働省から委託を受け実施している「戦没者等の遺留品返還に伴う調査」事業で、OBONソサエティから本会に照会があった日章旗について、大分県、島根県、福島県、佐賀県で遺族が判明し返還された。大分県では、昭和20年3月5日にフィリピンのルソン島で戦没した島田太郎さんの日章旗が、甥の島田幸一さんに返還された。

島根県では、仁多郡馬木村（現奥出雲町）からフィリピンのルソン島へ出征した大本静雄さんが戦地へ持参した日章旗が、7月16日、出雲市大津朝倉に住む息子の幹夫さんの元へ届けられた。17歳で出征した静雄さんは無事戦地から生還し、戦後は地元馬木村で林業に従事し、その後自衛隊に入隊して退官するまで勤め、平成4年に64歳で亡くなっている。幹夫さんによると、父の静雄さんは家族に戦争に

ついで語ることはほとんどなかったが、戦地で捕虜になったこと、頭に爆弾の破片が残ったまままだ話していたと語った。幹夫さんは「あまりにも短い父の人生に親孝行もできないので恩返しになれば」と思い日章旗を受け取り、「父にとつて寄せ書き日章旗は宝物だったと思う。平和を願う後世に伝えたい」と話した。

福島県では、昭和17年11月29日、ソロン諸島ガダルカナル島で戦死した郡山市出身の宇南山民男さんの日章旗が遺族へ返還された。日章旗は、元米兵のチャールズ・マコットさんが戦地から持ち帰り、息子のロバートさんが保管していた。

7月22日、郡山市役所で返還式が執り行われ、民男さんの甥の故正敏さんの妻洋子さんが遺族を代表して日章旗を受け取った。洋子さんは「胸がすっきりした。仏壇に供えたい」と感謝し、「戦争のない平和な世界に式に出席した関係遺族か



島根県遺族連合会の原充男事務局長が届けた日章旗を手にする大本幹夫さん（右） = 7月16日、出雲市で

地方だより

各支部遺族会で、実施された大会等の通り。
石川県 6月23、24日 女性部研修会(60人)
購読者の皆様へ
日本遺族通信第861号(9月号)は、行事の都合により発行日から若干遅れて発送させていただきます。ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご了承ください。日本遺族通信編集係

九段短歌は新しい選者が決定するまでの間、休載のお知らせ
本紙7月(第859号)発行の2面「青年部が初めて会長に」の記事で「第4ブロックの幹事として」と記載しましたが、正しくは「第3ブロック幹事として」の誤りでした。ここに訂正し深謝いたします。

休載のお知らせ
九段短歌は新しい選者が決定するまでの間、休載のお知らせ
本紙7月(第859号)発行の2面「青年部が初めて会長に」の記事で「第4ブロックの幹事として」と記載しましたが、正しくは「第3ブロック幹事として」の誤りでした。ここに訂正し深謝いたします。